

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 天野 博司
幹 事 藤井 紀子
会報委員長 橘 英樹

お知らせ

・ 1月のプログラム
7 (No.1)-新年例会
16 (No.2)-ガバナー公式訪問
23 (No.3)-会員卓話

・ ニコニコBOX;
夏見Gの公式訪問ゴールイン
お疲れ様でした
秋山憲夫君
夏見Gの公式訪問お疲れ様
でした。陶國様はじめ随行頂い
た皆様ありがとうございました
和泉清憲君
夏見G、國時AGをお迎えして
陶國君
写真ありがとうございます
國時AG様

<ニコニコ会計累積/ ¥123,000>

・ がんばるBOX;
全ての公式訪問を無事終える
事ができました。皆様ありがとう
ございました

夏見G
夏見G公式訪問お疲れ様でした
天野君 細谷君 高岡君
明けましておめでとございます
なかなか出席できずすみません
西森君
母の告別式では大変お世話に
なりました
松村君
正月早々すみません
急用で早退します
秋山恒嘉君
なんとなく
後藤君

<がんばる会計累積/ ¥237,500>

例
会
場
・
事
務
局丸
亀
市
塩
飽
町
48
|
1丸
亀
プ
ラ
ザ
ビ
ル
5F

■会長挨拶

現在、我が国の人口は減少局面に入っており、今後、長期的に人口減少が続くことは避けられない状況にあり、本県においても、少子化に加え、大都市圏への人口流出もあり、人口減少が本格化しています。

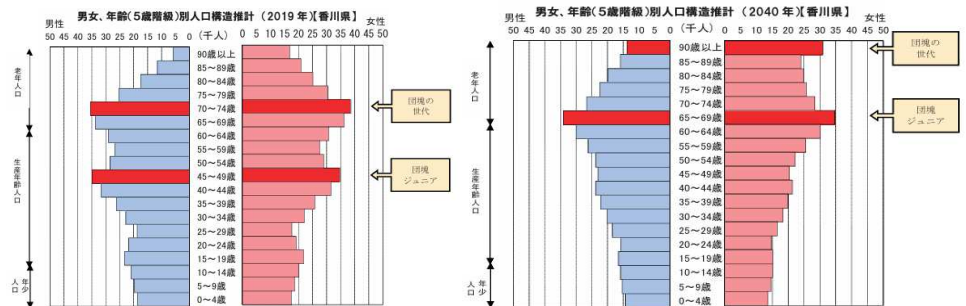
○ 香川県の人口は、平成11(1999)年の約103万人をピークとして減少に転じ、令和元(2019)年の人口は約96万人と、平成12(2000)年以来20年連続の減少となっています。

○ 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、現状のままで何らかを講じなければ、今後、人口減少は加速度的に進み、令和22(2040)年の本県の総人口は81万人程度にまで減少すると見込まれています。

○ 年少人口(0~14歳)と生産年齢人口(15~64歳)は、今後も減少し、令和22(2040)年に年少人口は、9万人を割り込み、生産年齢人口は、42万人程度にまで減少すると予測されています。

○ 一方、老年人口(65歳以上)は、平成27(2015)年から令和22(2040)年までの間は、30万人前後で推移すると予測されています。

人口の減少で全国の約4割の自治体が将来、消滅するかも... 有識者らの民間団体「人口戦略会議」は人口の減少で2020年から2050年までの間に若い女性の人口が半数以下となる自治体を「消滅可能性自治体」としています。24年4月24日、全国の約4割に当たる744の自治体が消滅する可能性があると発表しました。香川県では東かがわ市、琴平町、土庄町、さぬき市の4つの市と町が該当しています。今回の試算で、東かがわ市の若い女性の人口減少率は61%で、香川県の自治体で最大でした。人口の社会増減をプラスに転換するため、若者に魅力のある働く場の創出をはじめ、県内の雇用創出や生活・教育環境の整備など住みやすく魅力ある地域づくりを推進することで、若い世代の県外への流出を防ぐことが必要です。



■幹事報告

①例会終了後、定例理事会を開催

■理事会報告

①1月2月3月プログラム

1月7日 新年例会(丸亀東RCと合同)@オークラホテル丸亀

1月16日 ガバナー公式訪問 1月23日 会員卓話(横田会員)

2月6日 客話(県警丸亀警察署より) 2月13日 新入会員卓話(西森会員)

2月20日 客話(高松千春様) 3月9日 善行表彰(3月6日の例会変更)

3月13日 客話(KSB山内怜奈様) 3月27日 地区大会のための事前準備

②事務局のパソコンについて(決定)

現在使用中のパソコンに不具合があるので、5~6万円程度の中古品を購入

③地区補助金(決定) 5月のお城祭りを地区補助金を申請予定

④中期計画委員会(予定) 2月6日の理事会後に会を持つところから始動

⑤出欠連絡の徹底について(決定)

出欠連絡を促すために、例会での幹事報告で前回のお弁当の残数を伝える。

1月16日例会分 残り5食分

2025.1.16
Vol.62
№20
(2963)

■例会事業;ガバナー公式訪問

國時忠能がバナー補佐様

2月16日坂出でIMが開催されますのでご参加をお願いします。



夏見良宏ガバナー

2670地区73クラブで今日が最後の公式訪問となります。随行していただいた皆様、サポートしてくださった皆様、改めて御協力ありがとうございました。73クラブを訪問すると各クラブに違いがあり、一つ一つが印象的で良い思い出です。そして世界では200カ国36,691のクラブがあります。各クラブに違いがありながらも国際ロータリーの『私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生む為に人々が手を取り合って行動する世界を目指している』というビジョンのもとに何かしようという集まりです。

今国際ロータリーの目標は大きく4つあります。

- ・地域のニーズに合った会員の増強
- ・ロータリーの在り方の見直し

昨今の人口減少もあり会員数も減少していて73クラブのうち30名以下のクラブが30クラブあります。また会員の平均年齢も上がっており、香川第Ⅱ分区は70歳以上の方が4割となります。現在ロータリーは19委員会ありますので、会員数の少ないクラブは委員長を何個も兼任して、会長、幹事も複数回されるクラブもあります。これは、2670地区だけの話ではなく全国的な傾向であります。クラブがどうしたいか、どうなりたいかをクラブ自身で検討する必要があります。

- ・ポリオの根絶
- ・行動計画の推進者となる

1985年ポリオ患者が35万人から一時期6人まで減りました。ポリオ根絶運動を続けていき3年間患者が出てこなければWHOから0宣言が出ます。その時はこの功績に対してロータリークラブはノーベル賞の対象となります。寄付金を出すだけでなく、根絶運動の認知活動や募金活動などの協力も必要となってくると思います。

何かをやったことで社会は変わる、行動は未来を劇的に変える可能性がある。

しかしそれは、やみくもにやるのではなく、みんなが向かっていくことで大切だと思います。現状いろいろしなければならぬことはありますが、各クラブが『次世代が平和で安心して暮らせる社会にバトンタッチできるように』と今を生きる人が次の人達のことを考えて行動をするためにも、しっかりと考えて方向性をもって行動することが今後大切になります。先人植樹後人楽涼

未来は希望もあるが、絶望もある。未来はどのようになるかはわかりませんが我々は、せいひん(清く品格がある)があり、幸福な国を目指す。新しいバランスとなっていくこと、協調型の国造りを目指すべきだと思います。

そのために、お互いの思いやりの心をもって助け合うこと、寛容の心、日本人の心を大切に、新しい社会、日本、ロータリーを考えてほしいと思います。

